

令和4年3月13日執行

金沢市長選挙公報

金沢市選挙管理委員会

— 受け継いでいく、創っていく —



- ◎17年の議員経験を通じ、労働・福祉の「現場」に寄り添ってきた経験を活かします。
- ◎コロナの一日も早い終息と、感染症や自然災害に強い街をつくります。
- ◎雇用と所得の安定化を図ります。
- ◎中小事業者、地域商店街、個人商店への支援を拡充します。
- ◎「公営水道」を守り、「都市ガス」「水力発電事業」民営化を検証、見直します。
- ◎公共交通を支えます。
- ◎市政の透明化と、市民の声が市政に反映される具体的な仕組みをつくります。
- ◎歴史資産を継承し、それらを活かした新産業を創出します。
- ◎世界に誇れる「平和と人権」、「地方分権と自治」の街・金沢を目指します。
- ◎子育て・教育への集中投資で、未来世代を育みます。



いのち

市民の生命とライフラインを守る



森 かずとし



みらい

子育て・教育への集中投資で未来を拓く



くらし

雇用の安定と福祉の充実



ほこり

金沢を世界に誇れる自治体に



さんか

市民と市役所をつないでいく

百年先を見すえ、市民の声を聴き、今の課題に取り組みます。



HP



twitter



Facebook



LINE

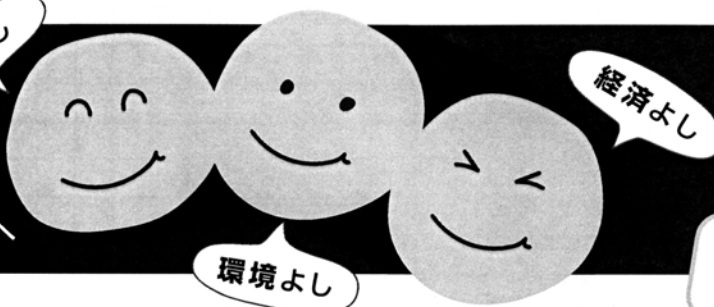
しくみを変える。金沢が変わる。

金沢には、人・環境・経済の3つの面できらりと輝く宝物があります。こうした強みを活かし、ポストコロナのより良い未来を描いていくには、多様な人々がしがらみにとらわれず場に参加し、協働して課題を解決していく「しくみ」が必要です。新しいしくみを動かし、市民が世界に誇れる金沢、世界の人々が憧れる金沢を実現します。



永井 なぎい みきい

#三方スマイルで、世界が学びたくなる金沢へ



永井はこんな人

- 「地域感染症危機管理センター(仮称)」を創設します。
- 子どもが安心できる第三の居場所をつくります。
- 子育て・ひとり親家庭のワンストップ窓口をつくります。
- 地域包括ケアシステムを充実し、適切な人材配置を進めます。
- 63ヶ所ある公民館を新たな地域づくりの拠点にします。
- 「脱炭素」「脱プラ」でイノベーションを生み出します。
- 「楽しく心地よく歩けるまち」をつくります。
- 町家の保全・活用と木を生かした景観まちづくりを進めます。
- 「文化とSDGsの国際会議」を金沢で開催します。
- ◎官民連携SDGsファンドを創設し、課題解決型ビジネスを興します。
- ◎テクノロジーを活用して市民の合意形成するしくみをつくります。

1968年金沢生まれ。公民館を遊び場に、地域の大人に見守られのびのびとした子ども時代を過ごす。小立野小、紫錦台中、金沢泉丘高を経て上智大学外国語学部フランス語学科に進学。その後、国連大学職員、JICA専門家として、モンゴル、タイ、東京で環境分野の国際協力と研究活動に携わる。2014年から8年間、国連大学サステナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット事務局長として持続可能な地域づくりに取り組む。地域のために活動する多様な人と対話する中で、金沢のまちの力、人の力を再確認する。家族は夫、娘2人。

令和4年3月13日執行

金沢市長選挙公報

金沢市選挙管理委員会

親和力で奏でる金沢

私は今の市政を停滞させないで未来へ繋ぐ 覚悟と責任があります

①市民の安全安心のための「親和力」

まずは新型コロナ対策
金沢市副市長として市政を支えてきた経験を
活かし、新型コロナの感染拡大の防止に
市役所が一丸となって取り組みます。

②市民のくらしを守る「親和力」

金沢の強みである地域コミュニティ
を活かすとともに、共生社会に向け
た取り組みを進めていきます。

このまちの未来を→



→の経験と親和力で奏でていきます

③子どもたちへつなげる「親和力」

金沢はSDGs未来都市。
豊かな心を育み、満足度の高い社会
を作ります。

④まちなかの再生に向けた「親和力」

このまちの賑わいは日本の地方都市全体
の活力につながると自負します。人々が集まり
たい、集まりやすい環境を創出していきます。



村山たかしHP

上の4つを土台とした

⑤文化都市金沢としての「親和力」

文化の継承は先人への敬意、現代人への豊かさ、未来への希望。
様々な教養・知識により生活の豊かさの向上を目指します。

●私の市政への決意

私には、日本国内で唯一無二の伝統と文化を誇る金沢への熱い思いがあります。私が暮らしたこの地域よりも美しく豊かで愛すべき都市です。新型コロナの感染が収まらない中、トップの交代による市政への影響を最小限に抑えるためには、コロナ禍の市政を支えてきた私自身が市長となり、責任をもって市政を存続させることが私の使命だと感じ、出馬することを決意しました。是非、市民の皆さまとともに未来の金沢を築いていきたいと思ひます。

村山卓(たかし)は1972年(昭和47年)生まれの49歳。

慶應義塾大学総合政策学部卒業。2014年から3年間、香川大学大学院地域マネジメント研究科教授として勤務。地域政策・自治体財政等の専門家。母は金沢市諸江生まれ、金沢美術工芸大学(油画)卒業。祖父母は小松市出身。現在妻との二人暮らしで、共通の趣味はフルート演奏。いしかわ金沢 風と緑の楽都音楽祭への出演のほか、市民管弦楽団に所属し、幸運にもオーケストラアンサンブル金沢とも共演できたことは、私達の大切な宝物です。

村山たかし選挙事務所 〒920-0926 金沢市広坂1丁目2-34 TEL:076-221-5350



村山たかし

金沢市長候補

49歳

無所属 日本共産党推薦

市民本位の金沢市政をつくる会代表委員 / 新日本婦人の会金沢支部長 / 薬剤師

あなたらしく「今を生きる」を支えたい

中内てるこの6つのお約束

くらしの中の願いや苦しみ、よろこびを分かち合いながら、弱い立場にある人、困難を抱える人に寄り添っていききたい。憲法を生かし、その人らしく生きられる市政を、願いを形にする市政を、ともに作っていきます。



中内てる

①子どもの権利をまもる

- 子どもの医療費18歳まで完全無料に
- 保育料は引き下げ、学校給食は無料化
- 少人数学級を推進

②持続可能な金沢に

- CO₂削減へ、地産地消、再エネ・省エネを推進
- 都市ガス・市営水力発電の民間売却は見直し
- 原発ゼロへ、志賀原発は廃炉に

③すべての人にやさしい市政に

- 家庭ごみの有料化・宿泊税の見直し
- ジェンダー平等、多様性を大切に
- 国民健康保険料、介護保険料、水道料を引き下げ
- コミュニティバスの充実

④市民とともに歩む市政に

- 利権を許さず、理解と合意を大切に市政運営

⑤コロナ対策の充実

- 科学的知見をもとにした対応の強化
- 検査・保健所・医療の強化
- 感染で仕事を休んだ方、減収・失業した方への補償拡大

⑥しごと応援で経済を元気に

- 地元企業を応援し、賃金と雇用を改善

Facebook

Twitter

HP

Instagram



市民のための市政に転換します

Profile●1972年4月2日生まれ(49歳) / 金沢市東山在住 / 家族は夫・子ども2人 / 福島市出身 / 金沢大学薬学部卒

令和4年3月13日執行

金沢市長選挙公報

金沢市選挙管理委員会

きょう そう と し かな ざわ
協奏都市・金沢

～心でつなぐ、これからの金沢～

#政治が若返る 39歳



こまい 大祐

だい すけ

- 1 **金沢まちなかキャンパス構想**
公共交通の再編と市民乗り放題プラン
バス×電車×まちのり(シェアサイクル)
- 2 **世界文化遺産都市・金沢構想**
文化施設の価値引き上げ
観光客の利用料↑ 市民利用料↓
- 3 **金沢ウェルビーイング構想**
子どもの医療費助成の拡大
中学卒まで→18歳まで
- 4 **次世代行政サービス構想**
より身近な市役所
出張相談体制 リモート相談

まだまだ広がる、金沢の子どもたちの可能性

山野市政“世界の交流拠点都市”を継承し、高い自己肯定感を持ち自分らしく世界で活躍できる人材を育成するため、子育て・教育関連予算2倍化し、子どもたちの未来の選択肢を増やしていきます。

- 1 **第2あめるんパークを南部地区へ**
雨の日も雪の日も遊んで学べる
施設の整備・拡充
- 2 **インターナショナルスクール等の誘致・中学校への校内フリースクール導入**
子どもたちの教育の選択肢の多様化
- 3 **お金からアート、宇宙まで。学習力を育む専門授業の導入**
学力と合わせて、自己を肯定でき、自ら考える力を育むカリキュラムを導入
- 4 **金沢食文化給食の提供**
一次産業事業者と連携をし、地産地消や、食文化の継承と発展を推進
- 5 **スポーツ環境・機会の整備**
ストリートスポーツ
パラスポーツ
プロスポーツ

金沢を“日本一”の学都へ!!



こまい大祐事務所
〒920-1156 金沢市田上の里2-9(2号室) Tel&Fax.076-255-2580

市民の負担なく財源200億円確保がこまいの目標です。詳しくはコチラ >>>

こまい大祐